

雨の日も安心!

タイル床面のスリップを防止します!



滑り止め

タイル
すべら〜ず

防滑性

水性

乾燥性

耐候性

適用用途 玄関アプローチ・通路・
屋内施設などに

適用素材 磁器タイル・御影石・
塗床材

300g
塗布量
約2㎡

(注意) ●実際の施行にあたり、事前のテスト施工をお勧めします。●レンガ調タイル、大理石、鏡面セラミック等への施工はできません。

1

水性で速乾性に
優れます

常温(23℃)で塗装した場合、
約4時間で歩行可能となります
(1回塗りの場合)

速乾で作業効率UP!

タイルすべら〜ず

1工程だけの
楽々作業!

●水性なので塗装中・塗装後の臭気
の問題がありません

2

透明の塗料で
床面の風合いを
損ないません

施工前



●塗装前は雨に濡れたタイルが滑りやすい状態

3

気候の変化に
耐性があります

外部でも変色がほとんどありません

タイルすべら〜ず塗装後



●塗装後は耐久性に優れた滑りにくい安全な状態

塗装方法と注意

(下地について) ■下地の種類: ●磁器タイルおよびモルタル
目地を標準とします。これら以外の適用については別途ご
相談ください。※塗床材への施工は、必ず施工可能かどうか
の確認を実施してください。●レンガ調タイル、大理石、鏡面
セラミックタイルへの施工はできません。■下地の状態: ●下
地は洗剤などで洗浄し、清浄な状態としてください。※目
地部が劣化している場合、エフロレッセンスが発生している
場合があります。必ず除去するようにしてください。洗剤は
水洗により完全に除去してください。●下地は充分に乾燥さ
せてください。

(塗装について) ●使用前によく攪拌してください。●塗装回
数により艶感が変わる為、施工時には塗装回数を合わせる
必要があります。●タイルすべら〜ずの塗装により、目地モル
タルは濡れ色になります。目地の吸い込み差がある場合、
濡れ色の程度に差異が見られる場合があります。●塗布量
が少ない場合や多すぎる場合、充分な防滑効果が得られ

ない可能性がありますので、標準塗布量を守って塗装して
ください。●一度に厚塗りをすることは避けてください。水性塗
料である為、一度に厚塗りをすると水分が塗膜中に残り、ワ
レ等の不具合を起こす可能性があります。●一度に厚塗りを
すると、骨材が塗膜表面に出にくくなり、防滑効果を得にく
くなります。●施工後、マスキングを剥がす際は、塗り終わり直
後、または歩行可能な状態まで乾燥した時点で作業を
行ってください。塗膜が乾燥している途中段階でマスキング
を剥がすと、マスキングと共に塗膜が剥がれる可能性があ
ります。●シンナーなどがかかる等、耐溶剤性が求められる
場所への施工はできません。●水が常時溜まるような場所
への施工は避けてください。●屋外用途で塗装する際、降雨
または降雪のおそれがある場合は、施工を避けてください。
(塗装後の清掃について) ●洗剤を使用する場合は、酸
性、アルカリ性、アルコール等含有している準水系洗剤を
使用すると、塗膜をおかす可能性があります。

- 容 量: 300g
- 品 名: 合成樹脂塗料(水性)
- 塗り面積(1回塗り): 塗布量 約2㎡/300g
- 適用用途: 玄関アプローチ・通路・屋内施設などに
- 成 分: アクリル樹脂、アルコール系溶剤、グリコール系溶剤、水、添加剤
- 塗装性状: 性状 / 半透明液体
- 乾燥時間: 常温(23℃)で塗装した場合、約4時間で歩行可能となります(1回塗りの場合)
- 塗装間隔(屋内): 2時間以上
- 希 釈 率: 清水 0~10%

■タイルすべら〜ず 価格

容 量	本体価格
300g	¥2,300

塗装仕様 使用状況・歩行頻度によって以下の仕様から現場に合わせた塗装仕様を選択できます。

標準仕様

希釈率(%)	塗布量(300g)	塗回数(回)	塗装方法	乾燥時間(23℃)
清水 0~10	約2~2.5㎡	1	ローラー、刷毛など	(塗り重ね)2~24時間 / (歩行可能)4時間以上

注意事項

予防策

- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 取り扱い後は手及び身体をよく洗うこと。
- (適切な処理を講じた以外は)環境への放出を避けること。

気象条件

- 降雨・降雪・夜露・凍結が予想される場合は、適切な処置をするか施工を避けてください。
- タイル表面温度が5℃以下になる場合には塗装を避けてください。
- 強風時には材料が飛散したり汚染物が付着し塗装面を汚す恐れがあるため、作業を中止するか適切な処置を講じてください。

洗浄作業における注意事項

- 洗浄に使用した洗剤は水洗により完全に除去してください。残存成分が塗膜に影響を及ぼすことがあります。
- 洗剤の飛散・付着により、住人や通行人、近隣に対して影響を与えないように注意してください。
- 洗浄しても除去できない汚れがある場合、タイルすべら〜ずを塗装すると汚れが目立つ場合があるので注意してください。

下地処理における注意事項

- 下地処理は物件によりそれぞれ異なるため、事前に調査し、その物件に応じた下地処理を行ってください。

使用材料

- タイルすべら〜ずは艶消し剤を配合している為、あらかじめ均一によく攪拌してください。
- 材料を小分けして使用する場合は、秤(最小目盛が10g以下)を使用して正確に計量してください。

材料の保管および廃材の取り扱い

- 火気やスパーク、高温物のあるところでは使用しないでください。
- 取り扱い作業所には、局部排気装置を設けてください。
- 塗装中、乾燥中とも換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ蒸気の吸収を避け、皮膚にふれないようにしてください。必要に応じて、有機ガス用防塵マスクや送気マスクを着け、さらに、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋、前掛けなどを着用してください。
- 塗料の付着したウエスや塗料かすなどは、必ず廃棄するまで水につけておいてください。
- 取り扱い後は手洗いうがいを充分にしてください。

- 容器からこぼさないように取り扱ってください。
- 貯蔵の際は、必ずフタをして、0℃以上40℃以下の場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使い切ってから廃棄してください。
- 塗装以外の用途には使用しないでください。
- 指定された以外の材料と混合しないでください。
- 呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を使用する作業にたずさわらないでください。
- 材料の保管は、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管してください。

応急処置

- 飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- 皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

保管

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
- 子供の手の届かないところに保管すること。

廃棄

- 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県、市町村の規則に従うこと。

その他

- 指定された以外の材料と混合しないこと。



試験項目		標準仕様(2回塗り)	防滑性向上仕様	試験条件
耐滑り性	乾燥面	0.66 C.S.R.	0.77 C.S.R.	JIS A 1509-12
	湿潤面	0.54 C.S.R.	0.58 C.S.R.	JIS A 1509-12

●雨などで濡れた状態でも十分な滑り止め効果を発揮します。

※東京都福祉のまちづくり条例施設設備マニュアルでは、原則として土足で歩行する部分は0.40~0.90C.S.R.となっています。C.S.R.値については右に記載しています。

施工前



施工後



防滑性について

C.S.R.値は東京工業大学で研究開発された耐滑り性試験機を用いて「人が歩いた時の感覚を最も忠実に数値化したすべり抵抗係数」を指します。日本建築学会のC.S.R.推奨値として、0.40~0.90C.S.R.が不足で歩行する際の滑りの安全範囲となっています。近年、床面の安全性を確保するために条例などでも採用されることが増えています。

